

日中関係学会青年交流部会

2023 年度第 1 回定例会

「第 11 回宮本賞受賞者」を囲んで語り合おう

皆さまのご好評を受けまして、例年の恒例となった宮本賞受賞者を囲む交流するイベントを、今年度も第 1 回定例会として下記の通り、遠隔会議システムにより実施する運びとなりました。壮年・シニアの皆さまや、会員でない学生の方も参加できます。とくに「宮本賞レター交流 2023」プロジェクトに参加される方は、著者と話ができる機会ですので、積極的にお申し込みください。

●日時・会場 2023 年 5 月 24 日（水）日本時間 18：30～21：00（Zoom による開催）

●参加費 無 料

●次 第 18:15～18:30 開場・入場タイム

18:30～18:35 開会の挨拶、趣旨説明

18:35～19:10 ＜第 1 部＞自己紹介：各受賞者からひと言ずつ

当日参加する宮本賞受賞者より、それぞれお名前と本日の座談会に向けた「キックオフ・メッセージ」をひと言ずつ頂戴いたします。

19:10～19:15（休憩 5 分）

19:15～20:25 ＜第 2 部＞座談会 「宮本賞受賞者」を囲んで語り合おう

☞ブレイクアウトルームへの参加に関する説明のあと、

宮本賞受賞者を交えた座談会で意見交換を行います

（受賞した論文執筆者の一覧は次ページ参照）。

20:25～20:30（休憩 5 分）

20:30～20:55 ＜第 3 部＞全体会（各ルーム代表者等からの感想）

20:55～21:00 青年交流部会のご紹介、閉会の挨拶

●参加申込 **5 月 14 日（日）までに青年交流部会事務局にご連絡ください。**

Google Forms 入力フォーム☞ <https://forms.gle/ztsfMgV3Qm4sTJ418>

☞ご連絡を頂戴したのちに、ご指定のアドレスに宛てて、参加 URL と

パスワードならびに当日の進め方についてご案内をお送りします。

※技術的な原因で入力できない場合、青年交流部会事務局（高久保）ま

でメールでお申し込みください（takakubo.yutaka@nihon-u.ac.jp）。

＜第2部＞受賞した論文執筆者の皆さま（学年表記は宮本賞論文を提出時点）

| | |
|----|---|
| 1 | 嫌中感情に打ち勝つ「華流」の可能性 ～「韓流」との比較から見る～ 呉雨欣さん（東京大学法学部第3類4年） |
| 2 | 近代日中における「常識」論に対する一考察 張愉佩さん（武漢大学中国伝統文化研究センター修士3年） |
| 3 | 日中の異文化コミュニケーションについて ～日本語学習と職場経験を通じた日系企業の価値観とその展望～ 鄧麗姍さん（広東外語外貿大学日本語学部日本語通訳学科 1年） |
| 4 | 渋沢栄一の中国観から学ぶべきこと 沈小溪さん（上海財経大学日本語学科 2022年7月卒業） |
| 5 | インダストリアルメタバースの導入について ～日中製造業の未来に向けて～ 木谷加奈子さん（明治大学経営学部経営学科4年） |
| 6 | 古代日中の文化交流に関する考古学的考察 ～特殊須恵器からみた～ 陳永強さん（名古屋大学大学院人文学研究科博士前期課程2年） |
| 7 | 中国人の心を奪った村上春樹作品の翻訳戦略 ～林少華の翻訳目的と彼の「塩味」に関する考察～ 王霄漢さん（東北大学大学院国際文化研究科博士2年） |
| 8 | 介護ビジネスエコシステム構想の再吟味 ～日中の介護ロボットの開発と普及をめぐる検討～ チーム Furi(フーリ)（日本大学商学部高久保豊ゼミナール） 二見啓介さん 奥井陸平さん、清水佳さん、中野いづみさん、耿奕錦さん |
| 9 | 自動運転車の開発体制に関する一考察 ～中国式から学びうるもの～ チーム PerTech (パーテック)（日本大学商学部高久保豊ゼミナール） 鈴木祐弥さん 須田直幸さん、小池栞理さん、白石優太さん、向響生さん |
| 10 | 中国のフードデリバリーから見る「民間レベルの日中関係」 （青山学院大学国際政治経済学部陳継東ゼミ3年） 有次里咲さん、一瀬知恵さん、小澤真有さん、小谷野浩太さん、 坂田澁司さん、櫻庭駿介さん、趙哲偉さん、山口杏菜さん |
| 11 | 和して同ぜず：雅楽「太平楽」の生成と変容 向偉さん（北京大学外国語学院日本語文化系博士課程4年） |
| 12 | 周作人を変えた二つの体験 ～彼が女性解放運動で得たものは何か～ 張蕊さん（東北大学大学院国際文化研究科博士後期課程） |

以上